

ヨコハマ市民まち普請事業 令和5年度整備施設
「食」をテーマに繋がる、食のシェア空間
「シェアベース洋光台」が完成



磯子区洋光台3丁目の洋光台中央団地の一角(JR 根岸線洋光台駅から徒歩 3 分)に、すべての人の暮らしに共通する「食」をテーマにした、食のシェア空間が令和6年3月にオープンしました。

1階は出店者と地域の方の会話やつながりが生まれる「チャレンジキッチン」、2階はイベントやワークショップもできる「コミュニティスペース」など様々な使い方を積み重ね、“結び手”が同じ思いの人同士を繋ぐことで、食でゆるく繋がれる居場所を目指していきます。(シェアベース洋光台の特徴は裏面参照)



1階
チャレンジキッチン



2階

コミュニティスペース

施設の概要

1階は、お菓子の販売をしたい方が製造したり、飲食店営業等を検討している方が日替わりで自分のお店を持ったりなど、チャレンジする人を応援するキッチンです。

2階は主に料理教室やワークショップ、イベント利用ができるキッチン付きコミュニティスペースです。ふらっと友人とおしゃべりに来たり、手料理を振る舞ったりもできる空間。こども食堂の開催等も想定しています。

1階、2階いずれも飲食店営業許可・菓子製造許可を取得しています。

〈シェアベース洋光台の概要〉

利用可能時間

1階:7:00~22:00

営業可能時間は 21:00 まで

2階:9:00~20:00

キッチン等の施設利用料金

平日 1200 円/h

土日祝 1500 円/h

使用可能設備などの詳しい情報は、メールにてお問い合わせください。

✉ contact@machimado.org



シェアベースHP



住所:磯子区洋光台3丁目
洋光台中央団地 13-5-107・207

シェアベース洋光台の特徴

シェアベースには、“結び手”がいます。

“結び手”とは、人と人、人と体験、人と情報、人と地域などを結ぶサポートをする人のこと。

『食を通して何かをやりたい』『まだやりたいことは分からない…』そんな人を見守り、おせっかいをし、そして寄り添います。この場所で、たくさんの人の少しの力を合わせて「できたらいいよね」を「できるかもしれない」、そして「できた！」に繋げていくことを目指しています。



提案メンバーであり、【結び手】でもあるシェアベースを大きく支える3人

「食」をテーマに、ゆる〜く繋がる居場所

同じ団地内の一角にある“まちまど”というまちの情報発信拠点には、「食」にまつわる仕事への再チャレンジや小商い、地域活動を行いたいという願いが多く寄せられていました。多世代かつ多様なバックグラウンドと専門性を持つメンバーが集まり、「食」をテーマにした、気負いせずゆるく繋がる居場所を目指して、シェアベースは整備されました。

1階と2階は内部階段で繋がっているため、フレキシブルな使い方が可能に!



1階ではジャム作り、2階ではスコーン作り。完成したらスコーンにジャムをつけて食べる1・2階を使ったイベントも開催。



整備にはたくさんの地域の力を借りて!

地元の工務店による工事に加え、自治会町内会など、地域の関係者で構成される洋光台まちづくり協議会からの寄付の協力や、クラウドファンディングを活用しながら整備が完了しました。



グループメンバー自らも工事に参加!



洋光台まちづくり協議会から寄付してもらった椅子。協議会の名前が入った背面のタグが、「背中」を支えています。

まちへの思い、カタチにしませんか? 5/31までまちづくりの提案募集中!



ヨコハマ市民
まち普請事業
HP

ヨコハマ市民まち普請事業は、市民の皆さんが主体となって行う、まちの魅力アップや地域の課題解決のための施設整備を伴うまちづくりに対し、支援や助成を行う横浜市独自の事業です。2段階の公開コンテストを経て選考された提案に、最大 500 万円の整備助成金を交付し、地域のまちづくりを支援しており、5/31までまちづくりの提案を募集しています。

まち普請

検索

地域まちづくり課では、まち普請事業にチャレンジしたい方のご相談を随時受け付けています。

令和6年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業の皆様



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 村瀬 亮二 Tel 045-671-2665